

和光



発行 〒894-0007 鹿児島県奄美市名瀬和光町1700
国立療養所 奄美和光園
電話 (0997) 52-6311

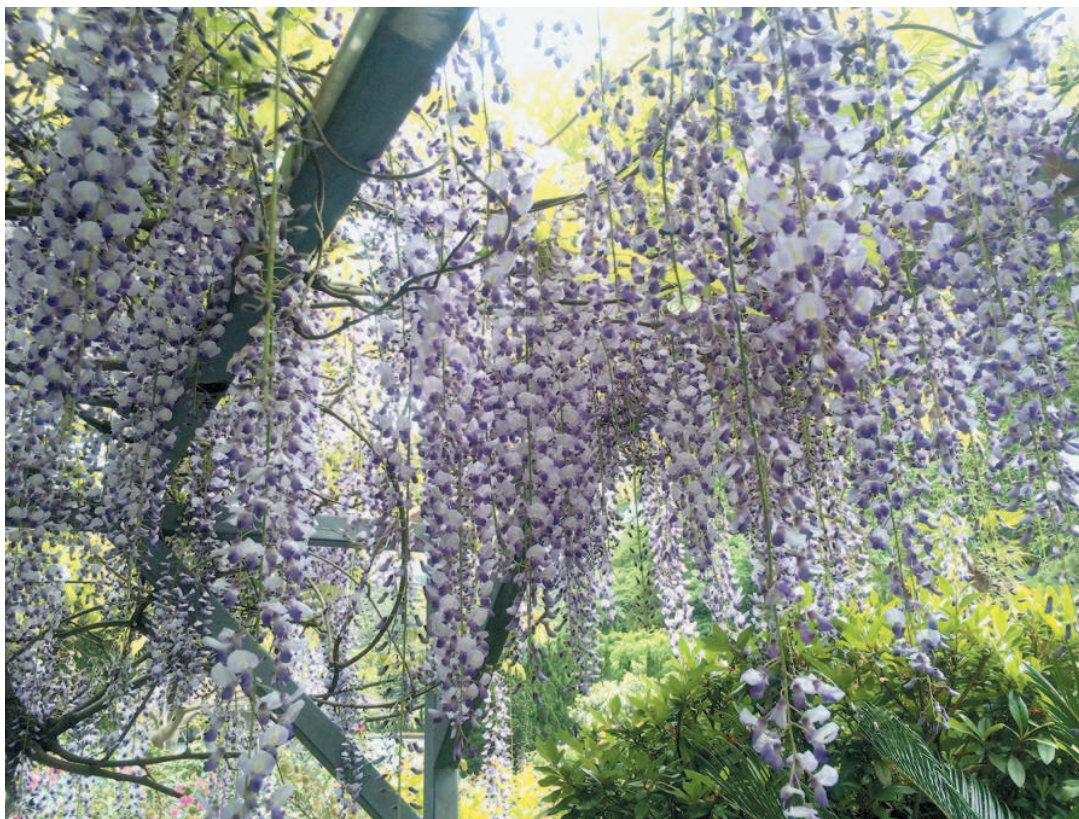
平成28年5月1日
(2016)

第101号

■表紙	1	■「ふれあい和光塾」開講式に寄せて	13
■患者様の権利	2	■ふれあい和光塾	13
■退職に寄せて	3～4	■第8回奄美観光マラソンへ参加して	14～15
■新人紹介	5～8	■平成27年度医療安全全体研修報告	16
■合同歓迎会開催	9	■日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士取得	16～17
■桜の花見	10	■平成27年度一般診療統計	18
■レクリエーションに参加して	11	■人事異動	19
■一般舎新築内覧会「さくら寮」	12	■和光園日誌・編集後記	20

基本理念

私たちは、入所者一人ひとりの生命の尊厳と人権を守り、豊かな自然環境につつまれた穏やかで心豊かな療養生活と、安全で安心できる医療を提供します。



奄美和光園 記念公園

基本方針

1. 入所者の終の棲家として心穏やかな暮らしを支えることを基本とします
2. 入所者自治会とよく話し合い 入所者本位の運営に努めます
3. 入所者一人ひとりの日々の変化にきめ細かく対応いたします
4. ハンセン病による後遺症や合併症の対策をしっかりと行います
5. 入所者が高齢化していることを念頭に置き 健康保持の活動や生活を支える医療さらには感染予防・認知症対策に重点を置きます
6. 地域医療とも連携し 適切で標準的な医療の提供に努めます
7. ハンセン病に対する正しい知識を普及させるため 啓発活動に努めます
8. 開かれた療養所となることを目的に地域社会との交流促進に努めます
9. 入所者の健康と安全な生活に貢献できるようすべての職員の質の向上に努めます

患者様の権利

★人格を尊重した医療を受ける権利

誰でも、どんな病気でも、安全で良質な医療を平等に受ける権利と、個人の人格や価値観が尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで医療を受ける権利があります。

★医療に関する十分な説明を受ける権利

検査、治療等について、あるいは他の治療方法について、納得されるまで十分な説明を受ける権利があります。

★個人情報保護の権利

診療の過程で得られた個人情報やプライバシーが守られ、個人の尊厳が保たれる権利があります。

★診療情報の提供を受ける権利

ご自身の診療録の開示を請求する権利があります。

★検査や治療等の自己決定権の権利

検査、治療法などの選択、あるいは拒否をする権利があります。
また、セカンドオピニオンを受ける権利があります。

患者の皆様へ

- ご自分の健康に関する事を詳しく正確にお話し下さい。
- あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力下さい。
- よりよい医療・療養・生活環境を維持するために入院の規則をお守り下さい。





退職に寄せて



あ り が と う

看護の道を歩んで四十年。

今年3月に無事定年退職を迎えることとなりました。昭和53年に和光園に就職、平成15年星塚敬愛園、平成20年和光園、平成23年沖縄愛楽園、平成26年和光園と最後の年に和光園で迎えられたことは何より幸せであり、定年まで頑張れた自分自身にも「頑張ったね」と褒めたい気持ちでいっぱいです。

40年の看護人生の歴史を語るには、言葉では言い尽くせませんが、これまで

出会った沢山の職員や人生の先輩である入所者の皆さんの温かい支援があったからこそだと深く深く感謝しています。これからの人生は、これまで支えてくれた家族を支えながら、ゆっくり考えたいと思っています。

最後に皆様の御健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。ありがとうございました。

治療棟 看護師長 宮原 和子

退職にあたって

昭和57年に採用され早35年、今年3月で大きな病気もせず無事、定年を迎えることができました。在職中に入所者をはじめ職員の方々の支えのおかげで勤務することができ、深く感謝申し上げます。

就職した当時、和光園周辺は畑や田んぼばかりで、1～2軒しかなかった家もここ数年で和光トンネルが開通し交通の便利がよくなり、当時の面影がなくなり、

時の流れを感じます。園内、職場の行事の夏祭り・敬老会・クリスマス会などで入所者、職員が一緒になり楽しんだことが思い出されます。

今後は健康に留意し、一日一日を大切に過ごしたいと思っています。長い間お世話になりありがとうございました。

病棟 看護師 山元 みちの

お世話になりました

10年ひと昔と言いますが、約20年間大変お世話になり感謝しています。近くに住んでいますので、子供の頃の記憶として夏休みには、医学生の方たちとラジオ体操をしたり会話を楽しんだりしたものでした。仕事をするようになったある日、「ここにテープを貼ってくれんか」と頼まれたことからミカンの「接ぎ木」が出来るようになりました。今では趣味の一つになり、柿やマンゴー、桜に桃にと挑戦して楽しんでいます。和光園での

思い出は一つ一つ大切な私の財産になりました。

少し早い退職となりましたが、いつでもお立ち寄り下さいませ。

入所者の皆様の平和と安全な生活を心からお祈りしています。又、園長先生をはじめスタッフの皆様、いたらない私を支えて下さいまして感謝しています。皆様のご健康とご多幸をお祈りします。

ゆらいの郷 准看護師 平 晃江

退職にあたって

昭和55年4月に入職し35年間、看護課で勤めさせていただきました。35年間勤めることができたことは、入所者の皆様、職員スタッフの支えがあったからこそだと思います。

また、入所者からの力は大きく、どれだけ励まされたことか、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

今後は、35年間の色々な思い出を大切に心に留め、健康に気を付けて楽しく過ごしたいと思っています。

本当に長い間、お世話になりました。皆様の御健康をお祈り申し上げます。

治療棟 介護長 安田 けい子

退職にあたって

長島愛生園より昭和50年4月に転勤し、昨年定年を迎え、その後再雇用で1年間と和光園には41年間勤めさせていただきました。これも皆様方の温かいご支援があったからこそだと深く感謝申し上げます。

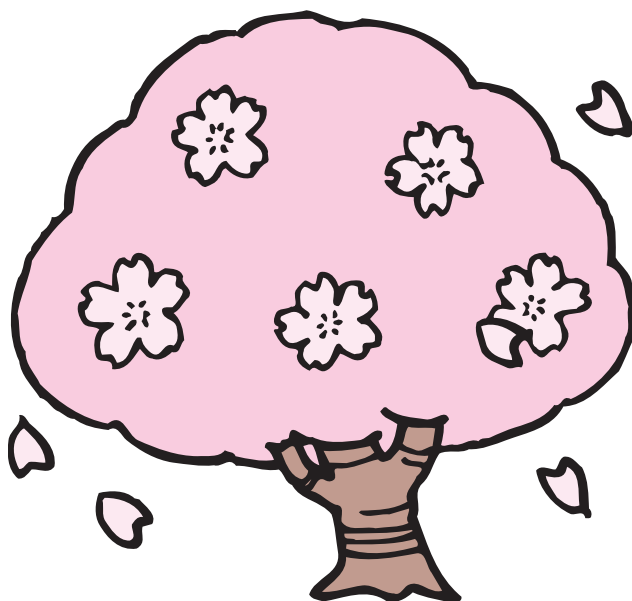
また、就職当時、田んぼの中を自転車で通ったこと懐かしく思い出されます。園内行事の夏祭りや敬老会、レクリエー

ション等とたくさん楽しい経験をさせていただきました。

今後は、皆様から頂いた数々の思い出を大切に健康に留意してまいりたいと思います。

皆様方のご健康を心よりお祈りしております。長い間、お世話になりました。

治療棟 准看護師 政 絹代



新人紹介



薬剤科長 黒瀬 立稔 (くろせ たつとし)

薬剤科の黒瀬立稔です。

4月1日付けで肥前精神医療センターから薬剤科長に昇任で参りました。

趣味は、テニス、映画鑑賞、魚釣りです。テニスは、若い頃、してましたが、今現在は、やってません。魚釣りは、以前沖縄愛楽園に勤務した時に、ルアーをやりはじめました。かなり太めで、血圧も高いので、体重減少と健康増進のため、テニスやウォーキングを始めようと思ってます。

ハンセン病療養所は、2年前沖縄愛楽園で勤務した経験があります。この経験を生かして、患者様のため、頑張ろうと考えています。

よろしく、お願いします。

事務長補佐 迫 坪 浩 (さこつぼ ひろし)

この度、4月1日付けで奄美和光園に赴任しました事務長補佐の迫坪と申します。

当園は二度目の赴任となります。前は庶務班長としてお世話になりました。

長らく家族を熊本に残しての単身赴任生活です。すでに忘れられた存在になりそうです。

至って無芸なわたしですが、無聊の折には唯一の趣味である絵を生かして、自然豊かな奄美の地を描いてみたいと思います。

今後とも皆様、よろしくお願いいたします。



福祉室長 磯部 武嗣 (いそべ たけつぐ)

4月1日付けで長崎医療センターより参りました。出身は佐賀県で北九州市育ちです。

鹿児島市での勤務は以前経験ありますが、奄美大島は今回初めてでございます。早く奄美大島の風土に慣れて入所者の皆様にお役に立てますよう頑張りたいと思いますので、どうかよろしくお願いいたします。

庶務係長 佐藤 剛 (さとう つよし)



はじめまして。

沖縄の琉球病院より赴任してまいりました佐藤 剛です。

趣味はバイクに乗ることなので奄美の島をツーリングする日を待ちわびています。他にもダイビングをしますので、奄美の海を見たときはあまりのキレイさに驚きました。とにかくアウトドアが好きなので奄美の自然を存分に楽しむ予定です。

そのためにも早く業務に慣れるように日々邁進してまいりますので、みなさまよろしく願います。



臨床検査技師 川崎 岳史 (かわさき たけし)

はじめまして、大分県の西別府病院から参りました川崎岳史と申します。出身地は鹿児島県の曽於郡という所で、志布志市の近くになります。

趣味は音楽鑑賞と楽器を弾くことです。特技は陸上(短距離)と水泳です。奄美大島に来て海がとても綺麗で、心が落ち着く空間だなと感じました。ここに来て一番やりたいのはサーフィンやダイビング等の遊びはもちろん、東京の学会で色々吸収して、当園のお役に立つようにしていきたいと考えております。

今後ともよろしく願います。

治療棟 看護師長 西濱 るみ子 (にしはま るみこ)

この度、4月1日付けで、独立行政法人国立病院機構沖縄病院より昇任でまいりました治療棟看護師長の西濱るみ子です。

奄美も初めて、ハンセン病療養所も初めて、初めての単身赴任と何もかも初めてづくしで戸惑っております。一日も早く環境に慣れ、和光園の職員として少しでも早くお力になればと思いますので和光園のこと、ハンセン病のこと、奄美のことをいろいろと教えてください。

明るく、思いやりのある治療棟を目指して頑張りますのでよろしくお願いします。



ゆらいの郷 看護師長 田中 浩二 (たなか こうじ)

みなさんこんにちは。福岡県の大牟田病院から赴任してきました、ゆらいの郷看護師長の田中浩二と申します。

出身は福岡県大牟田市です。生活の拠点は熊本にあります。

奄美大島には初めて来ました。自然豊かで海がきれいなことに感動しました。鶏飯もいただきましたがとても美味しかったです。

みなさんといっぱい話して島の情報を得ていきたいと思います。

島の良いところを教えてください。みなさんの情報を基に島を探索して島の良いところをいっぱい探すことを楽しみにしていきたいと思います。よろしくお願いします。



病棟 看護師 上原 弓美 (うえはら ゆみ)

皆さんこんにちは。4月1日より病棟勤務になりました上原弓美と申します。

出身は奄美市名瀬です。高校卒業後は鹿児島県の看護学校へ行き、その後京都にある神経内科の病院で5年間勤め、奄美へ戻ってきました。私は食べることが好きで、奄美に帰ってきて、奄美の食材や郷土料理を食べることができ、とても幸せを感じています。

和光園は初めてでまだまだ未熟者ですが、入所の方がよりよく過ごされるために精一杯看護に努めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

歯科衛生士 窪田 理栄 (くぼた りえ)



4月1日付で歯科衛生士として入職いたしました窪田理栄です。出身地は奄美大島の瀬戸内町です。豊かな自然が残る大島海峡の美しさは絶景です。

歯科衛生士の経験と居宅介護支援事業所で介護支援専門員として働いていた経験を活かし、入所されている方々が安心して、生活ができるよう微力ながら口腔ケアに努めたいと思っております。

病院という多職種で職員の多い職場は初めてですが、いろいろと学びながら頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願いいたします。



病棟 看護師 松永 葵 (まつなが あおい)

はじめまして。4月1日より病棟勤務となりました、松永葵と申します。奄美看護福祉専門学校卒業後、奄美病院に4年間、神奈川の整形外科に2年程勤務していました。島が好きで地元で働けることの喜びを感じています。趣味は絵を描くこと・読書、バイクに乗ることも好きです。

慣れないことが多くご迷惑をおかけするのではないかと不安ですが、少しでも早く入所者の皆様に信頼して頂けるような看護ができればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

ゆらいの郷 介護員 岩元 由衣 (いわもと ゆい)



皆様、初めまして。4月1日より、ゆらいの郷に配属になりました岩元由衣と申します。

出身は、生まれも育ちも名瀬朝仁で、昨年6月に奄美に帰ってきました。

介護という仕事を始めて、6年目になります。この仕事は、難しい課題も多々ありますが、それ以上にとてもやり甲斐のある仕事だと実感しております。

趣味は、バレーボールとバイクでのツーリングです。

1日も早く仕事を覚えて、入所者様1人1人がその人らしい生活を送れるよう私自身努力していきます。どうぞよろしくお願いいたします。

ゆらいの郷 介護員 安田 ひとみ (やすだ ひとみ)

こんにちは。4月よりゆらいの郷に入職した安田ひとみといたします。出身は名瀬です。5年ほど前まで老人ホーム等で介護の仕事をしていたのですが、出産・子育てのため仕事から離れていましたが、5年ぶりに介護の仕事に就くこととなりました。

おっちょこちょいなところがありますが一生懸命に頑張ります。入所者のみなさんの笑顔に励まされながら早く一人前になれるよう努力していきます。みなさんよろしくお願いします。



あまみ保育園 保育士 辰島 茜 (たつしま あかね)

4月1日より、あまみ保育園の保育士として入職する事になりました辰島茜です。

出身は奄美大島で自然が豊かなところや人の温かさが大好きです。

3月までは愛の浜園に勤めており、久しぶりの子供たちとの関わりの中で笑顔に癒され、明るさに元気を頂いております。

これからも笑顔ですごす事や、その人らしさを大切に子供たちや入所者様など色々な方との触れ合いを大切にしていきたいと思っていますので、よろしくお願いします。

庶務課 共済係 藤島 美咲 (ふじしま みさき)

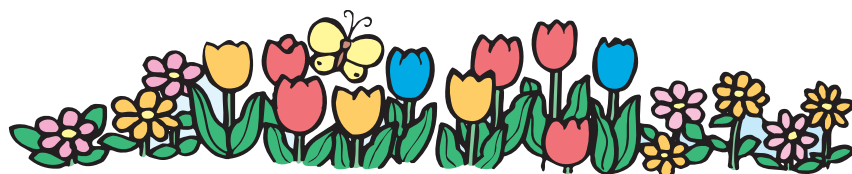
4月から庶務に採用になりました藤島美咲です。

出身は奄美市名瀬で現在は犬伏町に家族4人で住んでいます。

和光園に採用になり初めて園内に入りましたが、広々とした敷地やとても綺麗な館内に驚いているところです。

音楽が好きで学生時は吹奏楽、社会人になってからは三味線、島唄を習っていました。人前で披露するほどではありませんが…。

まだまだ分からないことばかりですが、早く皆さんのお役に立てるように頑張りたいと思っていますのでよろしくお願いします。





合同歓迎会開催



新規採用者12名及び転入者7名の合同歓迎会が、平成28年4月8日(金)あすなろホールで開催されました。

この合同歓迎会は入所者と共に和光園全体で新人さんを迎え入れようと、平成25年度に企画され今回で第4回目となります。

加納園長の歓迎挨拶に続き、各新人さんの自己紹介挨拶、(今年度は19名と多く手短にご挨拶をお願いしまして申し訳なく思っております。)



乾杯の後、いよいよ開宴です。テーブルには郷土料理と名物「黒糖焼酎」が並び入所者の方々との語らいに花を添えてくれます。

19名の新人さんを、今回は入所者21名、職員44名で歓迎しました。合計84名ともなると、あすなろホールが狭く感じられましたが、各テーブルには笑い声があり、終始和やかな雰囲気に包まれておりました。

お腹も満たされ程よく黒糖焼酎の酔いを感じた頃、カラオケが始まりました。入所者と新人さんが交互に十八番を披露し、まるで「歌の対抗戦」といった感がありました。新人さんも入所者も「私が1番」という自信に満ちた顔で歌っているのが印象的でした。楽しい時間はあっという間に過ぎ、最後は「和光園歌」を全員で大合唱し、吉原総看護師長の挨拶で閉宴しました。



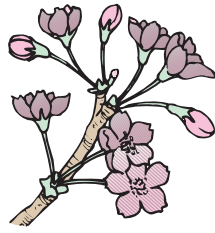
新人の皆さんには和光園の雰囲気を感じて貰えたことと思っております。先輩職員と共に和光園の盛り上げに、お力添えを宜しくお願い致します。

また忙しい中、合同歓迎会準備に奔走して頂いた裏方さんに感謝します。

事務長 八代 祐二



桜の花見



2月4日(木)午前11時から13時までの約2時間、「あすなろホール」に於いて、毎年恒例の緋寒桜の花見が開催され、入所者20名、皮膚科一般入院患者1名、職員48名の計69名が参加しました。

花見当日はあいにくの天候不良で、この時期の奄美では例年になく寒さが重なり、屋内での花見となりました。残念ながら桜の木の下での宴は叶いませんでしたが、会場は外での花見に負けない程の工夫が施され、数日前に写真撮影された満開の桜が映像となってスクリーンに映し出されました。会場からは「きれい～、満開だね～」「こんな花見もいいね～」などの歓声が上がり、花見弁当を頂きながらのカラオケタイムもあり、会場は入所者・職員の笑顔や笑い声や歓声などで活気あふれる楽しい場となりました。特に入所者と職員のデュエットには大きな歓声が上がり宴に花を添える一幕となり、



楽しい花見の一時を入所者と職員が共に過ごすことができました。

病棟 看護師長 岩越 はるみ



レクリエーションに参加して

4月8日(金)土浜海岸でレクリエーションが行われました。

旧暦の3月2日、この時期は1年を通して潮の引く日で、入所者の方々も待ちわび各々自慢の手料理・お菓子・ジュースを持ち寄りこの日を迎えました。

当日の天気予報は曇り一時雨で空には怪しげな雲たちが漂う中での決行となりました。

出発時間前に本格的な雨となり急遽、本館玄関より出発。大勢のスタッフに見送られて大熊から秋名回りで浦→赤尾木→一屯→喜瀬→赤木名とバスを走らせました。

色々と思案した結果、宇宿漁港内の東屋での昼食を摂ることとなり雨よけのブルーシートを回りに張り準備オッケー。少し早めの昼食タイム。途中で購入した弁当のほか入所者から手作りの豚骨・豚足料理で舌つづみを打ちながら会話も弾み楽しい時間を過ごしました。

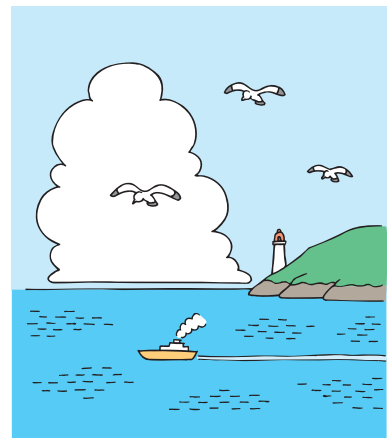
しばらくすると、先程とはうって違って雲の合間から薄日が差し、この上ないレク日和で宇宿港内の景色を眺たり、散策散歩・雑談に花を咲かせました。

休息後、目的地の土浜へ再びバスを走らせ各々貝採りをする人、昼寝・散歩と潮風と波の音を満喫しました。

帰りのバスの中では皆さん疲れも感じさせずカラオケで盛り上がりました。

今回のレクリエーションは、終始空模様とにらめっこをしながらの移動となりましたが、参加者の皆さん全員が笑顔で無事楽しい1日となりました。

福祉室 溜 絹代





一般舎新築内覧会

「さくら寮」

昨年（27年）の6月より行っていた一般舎の工事が完了し、去る3月23日に内覧会を行いました。

地鎮祭や上棟式とは違い大々的イベントではないために、来てくれる入所者がいるのかどうか分かりませんでした。当然入居される方は見えるとは思いましたが、それ以外の入居者の方については、もしかして誰も来ないのでは？と不安も少し。ところが開始時間前に解錠のために現場にいったところ、二人の入所者が解錠するのを待ってらっしゃいました。

少しだけフライング気味ではありましたが、解錠前から待ってらっしゃった入所者を家の中に案内しました。「やっぱり新しい家はいい匂いするね。」「明るいね。」「広いね。」と出だしの評判は上々！一通り見て今度は、「これ低いんじゃない？」「これ高いんじゃない？」「これ掃除しにくそう！」と色々アドバイスのなお言葉も頂きました。

次に入居予定の入所者が見えました。車椅子でみえたのですが、この家は「バリアフリー」。玄関土間から玄関ホール、

居室、縁側とすべてフラットな作りであるため、乗り換えも介助もなく内覧出来ました。付き添いの介護員さんに「綺麗だね」「広いね」と言葉かけられると、うれしそうに頷いていました。

その後、何人もの入所者や職員が新築の家に訪れました。100%満足な家というのは生涯かかっても建てられないと耳にしますが、「ここは！！」という押さえどころや個々のこだわりが今後の一般舎新築に活かれば入所者のよりよい生活を維持できるのではないかと思います。

会計班長 堀口 広文



「ふれあい和光塾」開講式に寄せて

平成28年4月16日(土)、柔らかな春風に包まれる中、「ふれあい和光塾」開講式を実施しました。13年目を迎える本年度は、新規6家族を含む22家族が「和光ファミリー」として登録されました。

ふれあい和光塾は、和光ファミリーが農業体験を通して、和光園へ入所されている皆さんとの交流を図り、ハンセン病に対する正しい理解と認識を深めることが目的の一つとなっています。開講式終了後、ファミリーが農園の整地等をしている折、幼い子どもたちと入所されているおばあちゃんが、笑顔で楽しそうに会話する光景がありました。その子どもたちの様子からは、ハンセン病に対する偏見など、微塵も感じられませんでした。

この背景には、子どもたちの保護者や周囲の大人たちが、和光園へ入所されている皆さんと協力し合いながら農作業をしたり、自然に談笑したりしている姿を、本事業の中で日ごろから見ていることが大きく影響していると思われます。12年間継続してきた事業の趣旨が、塾生の

中で確実に実を結んでいることを実感する場面でした。

本事業は和光園の園長先生を始め、職員の皆さんの理解と協力がなければ、ここまで継続することはできませんでした。畑や水道水等の無償提供、耕運機等の貸出しなど、本当にありがたく感謝申し上げます。

この取り組みを通して、ハンセン病に関する正しい知識と人権に関する理解がより一層深まり、市民の偏見や差別意識が解消していくことを心から望みます。

奄美教育委員会 生涯学習課



ふれあい和光塾

平成28年4月16日(土)午前9時、天気は曇り空でしたが気持ちの良い春風そよぐ中、ふれあい和光塾が開講しました。和光塾ファミリー、奄美市教育委員会生涯学習課職員、和光園入所者、和光園職員と合わせて約三十数名の参加のもとに行われました。生涯学習課長より主催のあいさつに始まり加納園長の励ましの言葉、参加者ファミリーの紹介そして和光園の畑使用のきまりについての説明によりプログラムが進んでいきました。各ファミリーで種植え、草刈り作業を行い、農作業に慣れないファミリーにはベテランの方が教えている姿や小さな子供さんも一生懸命手伝っている姿が見受けられました。

和光塾の目的としては、和光園の農園を一般の奄美市民の方々に借りていただき農

作業を通じて入所者との交流を深めるところにあります。また、農園で自分達が育てた野菜を収穫することも生活の楽しみの1つになるのではと思います。

今後も引き続き地域のふれあいの場として多くの方に参加して頂くことを心より願っております。

福祉室長 磯部 武嗣



第8回 奄美観光桜マラソン へ参加して



美しく桜の花が周囲を彩る2月7日第8回奄美観光桜マラソンが開催されました。今大会のテーマは「明日へ向かって新たな挑戦を続ける奄美大島」で参加者はなんと1756名のランナーの皆様が集まりました。私自身もランナーの一人で今大会へは4歳の娘と2人で初めての3.5kmコースへ参加させて頂きました。

当日、会場には家族5人で行かせて頂きましたが、これだけの参加者と関係者などが来られていたため、入場口から大勢の人が見え、とても賑やかでした。そして会場入りしようとしたその時です。次女が転んでしまい、怪我をして受け付け開始前に救急室へ入る事になりました。まだ救護隊が到着していない中で誰よりもはやく幸先の良い一番乗りとなりました。その後、受付をすませ、我が和光園チームと合流しようと探しますが、人がすごく多く、なかなか見つけれなかった事を覚えています。参加者の中には子供から大人まで幅広い年齢層の方がいらっしやり、各自ストレッチをされている

方やおしゃべりを楽しんでいる方等、これもマラソンの楽しみの一つと感ずることが出来ました。また私自身その姿を観て自然と心が弾んでいたように感じます。そして、なんとか個々の目標を持った？我が和光園チームと合流する事が出来ました。

開会式では、私個人的な都合なのですが、子供のお世話や来賓席には武蔵丸(元横綱)が来場している事が和光園チームで話題となり正直あまり聞いて・・・記憶にないのですが、逞しい声での選手宣誓があったのかと思います。開会式後には和光園チームでパシャリ、ついでに武蔵丸とも和光園メンバーで写真も撮ってもらいましたが隣に立つと横綱の体が大きさを実感し、あの手で張り手などもらったらなど・・・想像するだけで痛みが感じてしまいそうでした。

初めは21.0975kmコースで次に15.5kmのスタートです。皆さん、とてもはやそうで筋肉質、でもその中には自分よりも年齢が高そうな30代、40代、もしくは

それ以上の方もいらっしゃったのではないかと思います。本当にすごいものです。私もいつかこの桜マラソンという名の通りの桜が見れるこの2つのコースに挑戦してみたいものです。この他の10km以下のコースはさとうきびコースと改名されたとも書いてありました。そしていよいよ、私と娘のスタート前10分前、なんと娘が迷子になりました。もう本当に子供がいれば色んな事が起きるものです。そこからスタートダッシュ以上の走りで搜索開始、様々な人混みの中でなかなか見つけられず2分前に泣いている娘を発見、スタートには間に合ったものの本当に疲れるものでした。そしてスタート！とても順調に進んだ距離、約500m、途中から徐々にペースが下がりだし、その後は子供を応援しながら、また色んな人に励まされながら気持ちよくゴール前まで歩きました。とりあえず最後まで抱えて走ることのなかった娘に拍手です。そしてゴール直前、いきなりラストスパー

トをしてロープまで走り抜けた娘にまた感動でした。結果は631人中540・541番でしたが順位では表せる事の出来ない何かを感じました。ちなみに武蔵丸も同じコースで私達より後方にいらっしゃってたと思います。まさかの横綱に勝利かな!? 我が和光園チームの中で表彰台にあがる人はいなかったのですが皆さま本当に頑張ったで賞です。そしてお疲れさまでした。その日の夜は頑張った後のお酒を味わいながら皆で盛り上がりました。その宴の中での話題なのですが、夫婦揃って同じ時間でゴールしたという人が発覚!? 娘とでさえ1秒のタイム差があったのに・・・ってとっても仲の良い話題でほっこりと場になりました。己の勝負でタイムを競っても良し、足並み揃えて一緒にゴールするのも良し。色々な物語を聞く事が出来ました。みんな仲良く、また来年参加しましょうね。

作業療法士 中川 恭兵



平成27年度 医療安全全体研修報告

平成27年度は医療安全全体研修として、患者急変時の対応を強化し実践能力を育成することを目標に全職員を対象にBLS研修に取り組みました。

開催時間や方法・期間を工夫しながら、昨年7月から今年2月の8か月間で92名の職員が受講（受講率89.3%）しました。

指導には馬場医師をリーダーに、インストラクター認定制を導入し、スキルテストを合格した研修生が15名誕生し、研修会をサポートしてくれました。

研修は講義の後、各ブースに分かれインストラクターの指導のもと、胸骨圧迫、AEDの使い方、BVM（バック・バルブ・マスク）の使い方を実技演習しました。受講生からは、「再確認する良い機会となった」「インストラクターがいて1つ1つ確認することができたのでとても良かった」「体験することで覚えやすく実践にも役立terと思った」「定期的に続けてほしい」との意見があり、次年度は、看護課、コメディカルに分け受講しやすい体制を整え継続して実施していきたいと思ひます。園内で働く全ての職員が救急蘇生法の知識・技

術を学び、入所者の安全をめざしたより安全な環境づくりに努めていきたいと思ひます。

医療安全管理者 後藤 祥子



日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士取得

平成23年赴任時からNST*委員長を任され、医師の立場から入所者の「食べる楽しみ」に関わってきました。疾患、体重、活動量、年齢などから1日に必要なカロリーや栄養素、水分量などは簡単に計算することができます。しかしハンセン病後遺症、脳卒中、認知症などに伴って嚥下機能が低下し、食事の量が減少したとき、安全かつ十分に食事をとり生命を維持することは簡単なことではありません。

たとえば・・・エビフライが好きな方も多いと思いますが、プリプリしたエビは噛みにくく、嚥下機能が低下した方には食べることが難しい食材です。安全に食べるためには、ソフト食（ゼリー）を選択することになりますが、この外見では、「今日のおかずはエビフライです」と言われても食欲が増しません。常食とソフト食の中間に位置するやわらか食は、エビと魚のすり身をフライにすることで、噛みやすく、飲み込みやすく、そして外

見もフライらしくなるため、安全に、楽しく食べることができます。NST委員会では、このように、栄養や安全性だけでなく、好きであった食品にアレンジを加えることで、嚥下機能が低下してからも引き続き好きなものが食べられることを考えて活動しています。



常 食



ソフト食



やわらか食

やわらか食
(あんかけ)

ユニバーサル食器

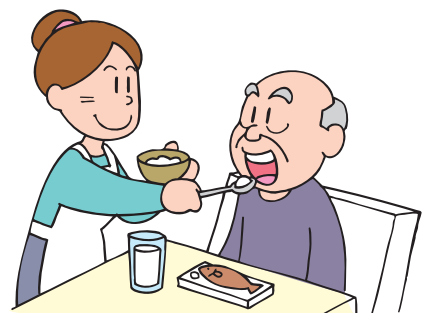
NST委員会のメンバーで行うNST回診では、毎回1～2週間単位で入所者の栄養状態や嚥下機能を評価し、活発な討論が行われますが、私は皮膚科医という職歴上NSTチームとしての経験が浅く、知識が不十分なところがありました。そのことをすぐに実感しましたので、平成24年から学会に所属し受験の準備を整え、このたび認定士試験に合格しました。

NST委員会には専門職として、摂食・嚥下認定看護師：松下、作業療法士：中川、栄養士：當島、と多職種メンバーが集まっています。さらに絶妙なタイミングで、歯科衛生士：窪田がメンバーに加わりました。彼らに任せておけば、各

々の経験や知識を生かした的確な仕事をしてくれますのでまったく心配ありませんが、嚥下機能の評価のなかには医師しか実施できないものがあります。また最終的なGOまたはSTOPのタイミングは医師に委ねられます。適切に判断することで「1日も長く、安全に、楽しく食べることをより充実させ、「美味しい！」の笑顔を支えていきたいと考えております。

*NST：Nutrition Support Team
(栄養サポートチーム)

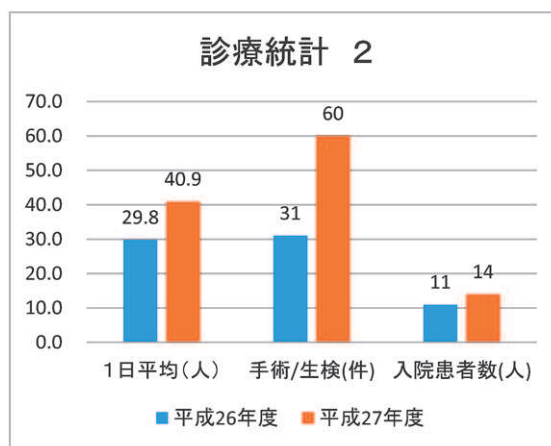
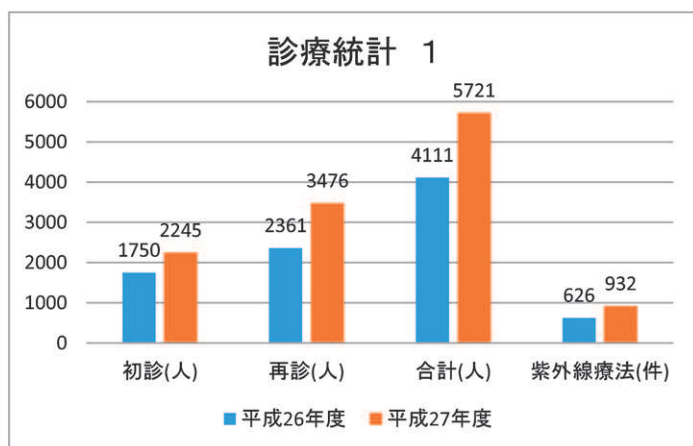
NST委員長 馬場 まゆみ



平成27年度 一般診療統計

	外来診療					特記		入院診療		
	初診(人)	再診(人)	合計(人)	1日平均(人)	診療実日数(日)	紫外線療法(件)	手術/生検(件)	入院(人)	退院(人)	延患者数(人)
4月	165	206	371	30.8	12	49	4	1	3	39
5月	158	214	372	37.2	10	51	1	0	1	7
6月	258	320	578	41.3	14	82	5	1	1	7
7月	194	288	482	40.2	12	76	4	3	2	27
8月	232	341	573	44.1	13	87	6	1	1	12
9月	187	318	505	45.9	11	79	9	1	0	44
10月	176	308	484	44.0	11	63	4	1	2	49
11月	157	279	436	39.6	11	77	0	1	1	21
12月	188	308	496	45.1	11	78	8	1	1	10
1月	186	299	485	44.1	11	86	5	2	1	4
2月	176	304	480	40.0	12	105	2	0	0	29
3月	168	291	459	38.3	12	99	12	2	1	34
合計	2245	3476	5721	40.9	140	932	60	14	14	283

* 皮膚悪性腫瘍切除術内訳

基底細胞癌
ケラトアカントーマ
未分化癌3件
1件
1件

人事異動

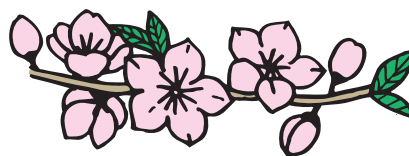
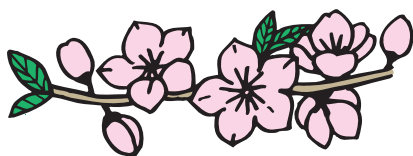
(平成28年2月1日～平成28年4月30日)

H28. 2. 15	大黒 将志	看護師(臨)	任期満了
H28. 2. 17	大黒 将志	看護師(臨)	採用
H28. 3. 31	宮原 和子	看護師長	定年退職
	山元 みちの	看護師	定年退職
	清瀬 はるみ	看護師	定年退職
	平 晃江	准看護師	辞職
	安田 けい子	介護長	辞職
	吉川 慶子	介護員	定年退職
	溜 絹代	介護員	定年退職
	政 絹代	准看護師	任期満了
	広瀬 晃	事務長補佐	NHO大牟田病院へ
	米丸 淳一	庶務係	NHO大分医療センターへ
	和氣 輝忠	臨床検査技師	NHO南九州病院へ
	面高 康成	看護師長	NHO沖縄病院へ
	當間 実	福祉室長	沖縄愛楽園へ
H28. 4. 1	迫坪 浩	事務長補佐	宮古南静園より
	磯部 武嗣	福祉室長	NHO長崎医療センターより
	佐藤 剛	庶務係長	NHO琉球病院より
	黒瀬 立稔	薬剤科長	NHO肥前精神医療センターより
	川崎 岳史	臨床検査技師	NHO西別府病院より
	西濱 るみ子	看護師長	NHO沖縄病院より
	田中 浩二	看護師長	NHO大牟田病院より
	上原 弓美	看護師	NHO宇多野病院より
	窪田 理栄	歯科衛生士	採用
	山路 郁美	看護師	採用
	大黒 将志	看護師	採用
	今里 百合子	看護師(臨)	採用
	松永 葵	看護師(臨)	採用
	徳 和代	看護助手	採用
	橋口 君子	看護助手	採用
	山下 ひとみ	看護助手	採用
	重 香代子	看護助手	採用
	辰島 茜	保育士(期間業務職員)	採用
	岩元 由衣	看護助手(期間業務職員)	採用
	安田 ひとみ	看護助手(期間業務職員)	採用
	岡 美恵	看護助手(期間業務職員)	採用
	藤島 美咲	共済非常勤	採用
	清瀬 はるみ	看護師	再任用
	吉川 慶子	看護助手	再任用
	溜 絹代	看護助手	再任用

和光園日誌

(平成28年2月1日～平成28年4月30日)

- H28. 2. 4 お花見会
2. 15 厚生労働省大臣官房会計事務監査指導
2. 24 消防訓練（夜間想定）
2. 29 入所者死亡 84才男性（34名→33名）
3. 10 一般入院 76才女性
3. 15 再入所者 81才女性（33名→34名）
3. 23 合同送別会サンプラザホテル
3. 29 入所者死亡 94才男性（34名→33名）
3. 30 一般入院 90才男性
4. 1 辞令交付式
4. 4 新採用者オリエンテーション
4. 5 “
4. 8 園外レクリエーション（笠利町・土浜）
合同歓迎会（あすなろホール）
4. 16 ふれあい和光塾開校式
4. 25 あまみ保育園（消防）立入検査
4. 29 入所者死亡 86才男性（33名→32名）



編

集

後

記

奄美大島に来て初めて、2月に満開になる桜、4月になると必ず訪れるなごりおいしい別れ、そして新たな出会いを経験し、時が経つのは早いものだ実感した今日この頃…

新年度より編集委員として“和光”誌へ関わらせて頂く事となりました。皆様が読んで楽しいと思える内容を提供していけるよう努力していく所存です。また個人としても“志は高く、腰は低く”をモットーにこれからもチャレンジ精神を持ち続け取り組んでいきたいと思います。どうぞよろしくお願いします。

和光編集委員 中川 恭兵